

茨城県岩間町方言の否定の表現

大塚 徹

I. はじめに

1. 調査対象地：茨城県岩間町は、水戸市から南西に約24km、東京から北東に約80km、県のほぼ中央部、東茨城台地の西部に位置する。人口は1995年5月1日現在で1万6624人。町中には山と田園地帯が広がる。近年、町の東部に常磐自動車道が通過。インターチェンジが設けられてからは工業団地、県園芸試験場、ゴルフ場なども開発整備されてきている。
(『岩間町勢要覧1991』より)
2. 調査年月日：第1回調査 1995年5月18日 午後2時～5時
第2回調査 1995年6月19日 午後3時～5時
(第1回、第2回調査とも、話者、調査者等、条件は同じ。)
3. 話者：小林幸吉 大正13年11月18日生れ 70歳
小林その が同席した。
4. 調査者・調査場所：大塚徹、話者宅
5. 調査方法：統一質問票による質問調査
6. その他：
①当方言は無アクセントであるため、アクセントの表記はしなかった。
②表記で用いた「イ」は従来指摘されていたように中舌化する傾向があり、[i]に近い発音もあるが、全体的に[ɨ]の発音が多い。「エ」も同様に[e]の発音が多い。またカ行、タ行の子音は、語中語尾では有声化する傾向にあるが、有声化しない場合もある。音声的な環境だけでなく、話者の心理的な要素にも影響されるようだ。本稿では[k̚][t̚][g̚][d̚]をカ行、タ行で表現してある。
③話者による説明は()でくくり、調査者による説明は< >でくくって示す。
④(若)は若年層の使用を示し、(老)は老年層の使用を示す。

II. 調査結果

1. 行かない ○アメカ° フリソーダカラ キョーワ ドゴヘモ {①イガネー。(多用) ②イガナイ。}
2. 降らない ○キョーハ アメワ {①フラネー。(多用) ②フンネー。(岩間町の中でも田舎の方でよく聞く。) ③フラナイ。(若) ④フンナイ。(まれ)}
3. 行きません ○キョーワ ドゴエモ {①イガネー。(多用) ②イギマセン。(まれ) ③イガナイ。(若)}
4. 行きはしない ○キョーワ ドゴヘモ {①イキヤーシナイ。②イキヤーシネー。}
5. いらっしやらない ○センサーワ キョー ドゴエモ オイデニナリマセン。

- 6.行かなかった ○キョーワ ドゴエモ イガナカッタ。
- 7.行きはしなかった ○キョーワ ドゴエモ {①イガナカッタ。(多用)②イギワシナカッタ。(まれ)}
- 8.行くまい ○アメカ° フリソーダカン キョーワ ドゴエモ イガネーベ。
- 9.出まい ○アメカ° フリソーダカン キョーワ ドゴニモ デネーベ。
- 10.すまい ○キョーワ ナニモ ヤンメー。<「シンメー(シルマイ)」、「ヤンメー(ヤルマイ)」等はよく使用するようである。しかし、「イクマイ」の打ち消し推量「イクメー」は文法的には使用できるが、習慣的には使用しないとのことである。>
- 11.降らないだろう ○キョーワ タブン アメワ {①フラネーダロ。②フンネーナ。③フンナカッペ。(若)} (①、②、③、の間で推量の程度差はそれほどない。)
- 12.降るにちがいない ○アスワ キット アメカ° {①フンニチケ° ーネー。(まれ) <誘導>②フンダッペ。(普段は②の語形を使用し、①の語形はあまり使用しない。)}
- 13.来ない ○キョーワ ダレモ キネー。<カ行変格活用の上一段化。ただし、話者の内省では未然形だけのようである。>
- 14.来はしない ○キョーワ ダレモ {①キヤシナイ。②キヤシネー。}
- 15.来なかった ○キョーワ ダレモ キナカッタ。
- 16.見ない ○キョーワ ダレモ {①ミネー。②ミナイ。(若)}
- 17.居ない ○キョーハ ダレモ {①イネー。②イナイ。(若)}
- 18.行かずに ○ドゴエモ {①イガネーデ ②イカズニ(若)} ウチニイル。
- 19.行かなくても ○ワザワザ イガネーデモ エー。
- 20.行かなければ ○ワザワザ イガナキャ ヨカッタ。
- 21.行かねば ○ドーシテモ イガナキャ ナンナイ。
- 22.行かねばならない ○ドーシテモ {①イガナキャナンネー。(多用)②イガナキャナンナイ。}
- 23.～ズ ○キョーワ ドコヘモ イガナカッタ。(「今日はどこへも行カズヤ(ジャ・ダ)」という表現はない。)
- 24.行きもせず、来もしない ○コチラカラ イギモシネーケンド ムコーカラ キモシネー。
- 25.行くか行かないかわからない ○ソノヒトソ イエニ アスモ イグガイガネガワガンネー。
- 26.無い ○コレダケシカ ネーヨ。(「ヨ」は終助詞)
- 27.無い ○コトシノ ヨーニ アツイ トシャー {①ネーナー。(多用)②ナイネー。(まれ)}
- 28.ありはしない ○コトシミテニニ アッチー トシャー アリヤーシネーヨ。
- 29.無かった ○コトシミテニニ アッチー トシャー ナガッタナー。

30. ありはしなかった ○コトシミテニヨ アッチー トシャー アリヤーシナカッタナ。
31. 無いだろう ○コトシミテニニ アッチー トシャー モー {①ナカンバー。②ネーダロー。(若) ③アンメー。④ナカッペ。}
32. 無ければ ○アチー ナツナンカ {①ナキヤー ②ナケレバ } イーノニナー。
33. 暑くない ○キョーワ アンマ アツクネーナ
34. 暑くはない ○キョーワ アンマ アツカーネーナ。
35. 暑くなかった ○キョーワ アンマ アツクナカッタナー。
36. 暑くはなかった ○キョーワ アンマ アツカーネカッタナー。
37. 暑くないだろう ○アシタモ アツクネーベ。
38. 涼しくない ○キョーワ アンマ スズシグクネーナ。
39. にぎやかでない ○アンマ ニギヤカジャネーナ。
40. にぎやかではない ○アンマ {①ニキ° ヤカジャネーナ。②ニキ° ヤカデハナイナ。}
41. にぎやかでなかった ○アンマ ニキ° ヤカジャナカッタナー。
42. にぎやかではなかった ○アンマ ニキ° ヤカジャナカッタナー。
43. にぎやかではかろう ○モー マエノミテニ ニキ° ヤカジャネーベ。
44. 花ではない ○アリヤー {①ハナジャネー。(多用) ②ハナジャーナイ。}
45. だめだ ○イクラヤッテモ ダメダヨ。
46. だめな ○アイツァー ダメナ ヤツダヨ。
47. つまらない ○ {①ツマンネー。(多用) ②ツマラナイ。} コトユーナヨ。
48. いけない ○イッチャ イゲネーヨ。
49. 行カレン ○ソнна トコ {①イッチャ イゲネーヨ。②イッチャダメダ。}
50. 行くな ○ソнна トコ イグナ。
51. するな ○イタズラ スンナヨ。
52. 行くもんじゃない ○ソнна トコ イクモンジャネーヨ。
53. たまらない ○アツクッテ タマンネーヨ。
54. しかたがない ○アメカ° ヤムノ マッテテモ {①ショーカ° ネー。(多用) ②ショーカ° ナイ。(丁寧)}
55. 楽ではない ○トークマデ アルクナー ラクジャネーヨ。
56. 歩きたくない ○トークマデ アルキタクネーナ。
57. 大丈夫だ ○シンバイ シネーデモ ダイジョブダ。
58. いや ○イヤ フンネー。
59. いや(強い否定) ○インヤ フンネー。
60. いいえ ○イーエ。(丁寧)

61. いや（否定の問いかけに対する応答） ①ウン フッタヨ。／②ウン フンナカッタヨ。
62. どういたしまして ①ドーイタシマシテ。／②ナンノ オカマイモ イダシマセンデ。
63. できない ○ワタシワ {①デギナイ。②デギネー。③デギルヨ。〈可能表現〉}
64. 読むことができない（状況） ①ヨメネー。／②ヨメナイ。／③ヨメル。〈可能表現〉
65. 読むことができない（能力） ①ヨメネー。／②ヨメナイ。／③ヨメル。〈可能表現〉
66. 出られない（心理的状況） ○コンナ ハデナ フクキチャー マチエ デランネー。
67. 食べられない ○コノ シータケ {①クエネーヨ。（多用）②タベランネー。}
68. 食べることができない ○イソカ° シクテ ヒルメシモ {①クエネー。（多用）②クーコトガデギネー。}
69. 知るものか ○ソннаコター オレカ° {①シルモンカ。②シルワキチャーネーベ。}
70. 誰が行くものか ○ソнна トコエ ダレカ° イグモンカ。
71. なんて行くか ○ソнна トコエ ナンデエグンダ。
72. なんて恥ずかしいものか ①ナンデハズカシーモンカ。／②ナニカ° ハズカシーンダ。
73. 行かないでおるものか ○イクゾ。〈他の表現は聞けなかった。〉
74. やれるか ○ソレカ° オマエニナンカ ヤレッカヨ。
75. シテイラン ○ソннаニ ヤナラ {①シナクテモイー。②ヤンナクテモイー。}
76. 少しもはかどらない ○アツクッテ シコ° ドカ° チットモハカドンネー。
77. ぜんぜんできていない ○シコ° ドカ° {①サツバリデキテネー。（多用）②サツバリデキチャーネー。③ゼンゼンデキテネー。}
78. いっこうに降らない ○アメカ° {①サツバリフンネー。②サツバリフンナイ。}
79. あまり降らない ○キョーモ アメカ° アンマ フンネーナ。
80. （予想外に）たくさん ○イモカ° {①エーツパイ。②ウーント。③トツベツモネー。（まれ）（老）}
81. いいではないか ○ワザワザ イカナクテモ {①イーンジャネーカ。②ヨカッベ。（多用）}
82. いいのではないか ○ワザワザ イカナクテモ ヨガッベ。
83. いいかもしれない ○ワザワザ イカナクッテモ イーカシンネーヨ。
84. 行かないか ○イッシヨニ イガネーカ。
85. くれなしか ○コレヲ クンナイカ。
86. くれませんか ○コレヲモッテテ {①クレマセンカ。②クンロ。③クンチヨ。（水戸の方で聞く。）}
87. 下さいませんか ○コレヲモッテテ {①クンネー。②イタダケマセンカ。}
88. 行かないと ○ハヤク イガネード。

III. 総括（まとめ）

否定を表す助動詞、形容詞「ナイ」は、ほとんどが関東地方の特徴的な「ネー」となった。インフォーマント自身、「ネー」が一般的で言いやすいと内省していた。ただし、自然会話でも「ナイ」は出現しており、使われないわけではない。また、「アルケナイ」「ウゴケナイ」という可能打ち消し表現には、標準語のように可能動詞を使用するのではなく、「アルカレナイ」「ウゴカレナイ」の撥音便形「アルカンナイ」「ウゴカンナイ」が使用されるようだ。

打ち消し推量の「マイ」から変化した「メー」は北関東の特徴的な現象とされているが、現在はあまり使用されなくなっているようだ。

参考文献

- 飯豊・日野・佐藤編（1984）『講座方言学5』 国書刊行会
大橋勝男（1976）『関東地方地域方言事象分布地図 第2巻 表現篇』 桜楓社
金田一京助（1952）『国語の変遷』 創元社
多々良鎮男（1956）「栃木県方言の語法」 『宇都宮大学学芸学部研究論集』第6号
宮島達夫（1961）「福島・茨城・栃木」 『方言学講座』 第2巻 東京堂

（おおつが とおる 専修大学大学院）